

慢性的な皮膚疾患“汗孔角化症”

治療法を組み合わせることで症状を軽減

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

汗孔角化症



「もう何年も前から、腕や足に小さな発疹ができていて気になっていました。汗孔角化症かも知れない、と言われまじた」。そんな悩みについて、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「汗孔角化症」の症状や原因を教えてください。

「汗孔角化症は、汗腺の出口に角質が詰まることで起こる皮膚の疾患。手のひらや足の裏、腕足に出ることが多いのですが、顔や体にもあらわれます。発疹は円形や茶色っぽく、がさがさとして輪のような縁取りがあることも。症状はよくならず、まれにしこりのようになって皮膚がんに移行することもあります。遺伝が関係していると

もいわれていますが、原因はわかっていません。常に摩擦されていたり、紫外線を浴びている部分に起こりやすく、外傷や免疫抑制状態なども関係しているのではないかと考えられます」

「治療には保湿剤や角質除去剤、ビタミンD3軟膏などの外用薬、エトレチナート内服剤などを使用します。最近の論文では有効との発表も多く、レーザー治療を行うこともあります（自由診療）。

汗孔角化症は慢性的な疾患なので、完全に治すのは難しいのですが、治療法を組み合わせれば症状は軽減できます。定期的な皮膚ケアやストレスの管理も重要。気になったら、まずは皮膚科専門医に相談してください」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

| 診療受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|-----------------|-----------------|
| 9:30~13:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | 12:30まで 受け付け | ○ |
| 15:00~19:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | 18:30まで 受け付け | 17:30まで 受け付け |

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2024年11月29日付「リビング多摩」に掲載されました